

# 六国見山ハイキング



2006年1月22日（日）北鎌倉の六国見山に行きました。前日に、大雪は降り、関東地方も積雪10センチとなりました。六国見山は、標高147メートルのとても低い山です。念のため北鎌倉からのお寺巡りのコースを用意して、“まあ大丈夫だろう”と決行しますが、町田駅に現れたのは小野勝彦さんだけでした。「せっかくの雪の鎌倉、来ればいいのに…」

北鎌倉駅で下車して、“どうしよう？予定通り、六国見山に行って、ダメならそこで考えればいいや。気ままなふたり旅だし”賑やかな街から離れ、住宅地を入ったところに登山口がありました。積もったばかりの雪は、歩きやすく、なかなか味わうことのない楽しい感触です。山頂からは、ひっそりとした鎌倉の海が見え、遠くに伊豆大島が確認できました。下山はちょっとした探検のようになりました。道の両側の笹が雪の重みで潰されてトンネルとなってしまったのです。いくつかの狭い笹のトンネルを抜けて下山します。再び住宅地を抜けて北鎌倉へ。明月院を通るはずが、反対側に降りていました。下山ルート間違えたわけです。こんな山でも雪だとねえ…。



## 大雪

1月21日(土)は、朝から雪が降り続け、町田・相模原でも10センチ近く積もりました。佐藤忠夫さんから、“明日のハイキングはどうなりますか？”というメールが届き、“予定通り行いますが、コースは変更するかもしれません”と返事を送りました。六国見山がむずかしそうだったら、雪の鎌倉寺巡りをしようと、ガイドブックとのにらめっこが始まりました。1月22日(日) 雪はやみ、日中は晴れるという天気予報。道路は雪で歩きにくいもののイヤになるほどではありません。小田急線町田駅には、すでに小野さんが待っていました。ところが、集合時間が近づいても誰も来ません。そのまま8時30分をまわります。「雪で歩きにくくて遅れる人もいるかもしれない」と小野さん。さらに10分待ちましたが、結果は同じ。ふたりで出かけることになりました。

## 目指すは“六国見山”

小田急線で藤沢に出て、JR東海道本線に乗り換え、大船へ。ここで、JR横須賀線に乗って、北鎌倉で降ります。こんな日の北鎌倉はひっそりとしていると思ったのですが、“何やらイベントでもあるのかしら？”という人出です。特に大きなカメラバッグを持った人が目立ちました。“撮影会かな？”

町田は、お弁当を用意していなかったの、駅近くの店で買い求め、歩き始めます。駅を降り、人出を確認したら迷いはありません。目指すは「六国見山」です。円覚寺側の線路沿いの細い道を大船方向に進みます。この方向に歩いてくる観光客はいません。



最初に目指すのは“北鎌倉美術館”です。ここへは、看板も多く出ているので迷うことはありません。北鎌倉美術館を通過したのは、10時32分、駅から約15分でした。“この展示は、古都鎌倉にふさわしい日本伝統の小袖を中心にした染織工芸品が主体となっている。

入館料1000円”ということでパス。



数百メートル行くと、頭上を道路が走っています。ガイドブックの地図だとどうやらこの道路を歩くようです。右手にある階段を上って頭上にあった道路に出て、道なりに歩いていきました。このあたりは高台の高級住宅地らしく、りっぱな家がゆったりと建っています。地図ではどこかで右折すると登山道標識があるようなのですが、目印がありません。雪かきをしている人に尋ねると「ふたつ目のT字路を曲がるとありますよ」と教えてくれました。

こうして、10時50分、登山口に到着しました。ここまで、“六国見山”の標識はひとつもありません。

## 山というより公園

石段を登り終えると、雪化粧をした遊歩道が始まります。登山道というよりは、公園の中を歩く感じです。しばらくすると道幅が狭くなり、上りが始まりますが、空がすぐそこにあり、さらに高い山もなく、“いったいどこまで続くのだろう”といった不安はありません。積もった雪を踏み固めるように歩きま



す。先に何人かのハイカー通った形跡があり、安心します。山登りという感覚もないまま、左手に小さな展望広場が現れ、上ると海が見えました。

想像していなかった見晴らしに驚きます。そもそも、伊豆、相模、武蔵、安房、上総、下総の六国が見渡せたということから“六国見山”の名前がついたということですが、実際には、生い茂った木々で、安房、上総、下総方面は見る



ことができません。富士山も見えるようですが、この日は無理。伊豆大島が、近く大きく見えたことには驚きました。時刻は、11時、暖かい日差しがあって雪がなければ、ここで早い昼食を摂りのんびりしたのかもしれません、一息ついて下山を開始します。



## 笹のトンネルを匍匐前進

展望広場の階段を下り、しばらく歩くと下山ルートが分かれています。“北鎌倉方面”に進むと道が埋もれています。両側の笹が雪の重みでつぶされ、トンネル状になり、その上にさらに雪が積もっているのです。トンネルの高さは腰くらいまで



で、通るためには這いつくばらねばなりません。“おかしいな？こんなものありかよ？途中で出会った犬の散歩をしていた人はここを通って来たのか？”

引き返してもう一方の行き先を確認すると“大船方面”となっていてこれでは明らかに逆方向なのです。再び笹のトンネルの前に立ち、「様子を見てきます」と町田がトンネルに入って行きます。狭いトンネルを抜けると一息ついてまた笹のトンネル。ふたつのトンネルをクリアすれば下山



できる道であることを確認して、小野さんを迎えに戻りました。

「いやぁ参りましたね」と無事トンネルを抜けて歩き出すと下から子供の声が聞こえてきました。「こんにちは」幼稚園に通うという女の子とお父さんと出会います。「もう少し行くと笹のトンネルがあって面白いよ」と女の子に教えてあげると、お父さんが「そうですか。笹のところはどうなっているかと思って散歩に来たんですよ。トンネルになっていますか」





## こんな山でコースミス

しばらく雪に埋もれた木段を下ると山道は終了しました。11時30分、ここから天園ハイキングコースを歩く予定でしたが、雪山歩きは思いの外疲れたため「帰りましょうか」「そうしよう」北鎌倉駅を目指して住宅地を歩きます。途中の明月院でも見学して、鎌倉駅まで散歩するか、素直に北鎌倉駅から帰ろうと思っていたのですが…。迷路のような住宅地に迷い込みながらも、メイン・ストリートと思われる幅の広い道を歩き、やがて、その道は消え階段となりました。階段の雪かきをしている人に道を尋ねると「このまま行って線路にぶつかったら左です」「…左？」教えられた通り行くと確かに線路にぶつかりました。「権兵衛踏切…」たどり着いたのは、今朝、北鎌倉美術館目指して歩いた道です。“なんで？こんなところに戻って来たのだろうか？”六国見山を下山して天園ハイキングコースへ行くどころではなく、下山ルートそのものが違うということ！こんな山でコースミスするとは…。



## いざ鎌倉！

朝の道で駅に戻る気になれず、踏切を渡ってバス通りで駅まで歩きました。当然、お弁当を食べる適当な場所などなく、気ままなふたり旅をいいことに駅前のそば屋に入り、暖かいそばを食べることにしました。ちょうど大勢のカメラマン達が帰ったところで、「何かイベントがあったのですか？」とお店の方に尋ねると、「雪が降ったからみんな集まって来たんですよ」「へえ」そこへ、ひとりのわりと若いカメラマンが入って来ました。「おたくも雪が降ったから鎌倉に写真を撮りに来たのですか」「ええ」雪が降らなくなったここ数年、土曜日にそれなりに降った雪が残る鎌倉、ふだん仕事をしているアマチュアカメラマンにとっては心躍る素晴らしい日曜日だったわけです。お店を出たのは、正午をまわったところ。「せっかくだから鎌倉駅まで歩きましょう」駆込寺、縁切寺として知られる落ち着いた風情の東慶寺境内を散策し、お正月の雰囲気はまだ残る鶴岡八幡宮の中を歩いて鎌倉駅に到着しました。大雪の翌日だというのに、鎌倉の街はいつもと変わらぬ人混みです。今年は、近すぎて(?)忘れていた(?)パワーの街、鎌倉を歩いてみようと考えています。



町田行弘	229-1103	神奈川県相模原市橋本 5-29-12 メゾン・アン・ソレイユ 201 042-773-7415
小野勝彦	194-0041	東京都町田市玉川学園 8-22-2 042-725-8403

